

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

『「説明が上手い人」がやって

いることを一冊にまとめてみ

た』 ハック大学ペそ著 アスコム 237

頁 1400円(税別)

著者は、ハック大学 ペそ。主にYouTubeチャンネル「ハック大学」を通じて、仕事術、キャリア戦略などビジネスに役立つ情報を発信。チャンネル登録者数は25万人を超える。チャンネルにアップされた動画のなかでも、説明に関する動画は人気のコンテンツです。

本書には、説明を上手くするための方法が記載されています。簡単にご紹介します。

★著者が実際に試してみて使えなかった説明法。

- ・ロジカルトalkingで理路整然と伝える
- ・相手に思いが伝わるように熱意を込める
- ・必ず結論から端的に話す
- ・相手の話をさえぎらないように相槌を打ち続ける
- ・相手が理解しやすいようにまずは詳しい状況説明をする
- ・上司が判断しやすいように起きたことを時系列で話す
- ・モレがないように知っていることは全て話す

★相手が何を知りたがっているか

- ・いくら立て板に水で話をしたところで、通じないものは通じません。通じるために大事なことは「私が何を伝えたいか」ではなく「相手が何を知りたがっているか」なのだ。それが理解できると、何を話せばいいのか、会社や業界の何を調べておけばいいのか、どんな話を準備するといいいのか逆算できる。

★説明の4ステップ:PREP

①Point:結論

②Reason:その結論にいたる理由

③Example:理由の具体例、根拠

④Point:結論

慣れないうちは意識して実践する必要があるが、やがて身につくまでクセになり、自然に結論から話せるようになる。

★1分以内で話す

短く話すはビジネスシーンでは鉄則。短くの間安は1分以内。話を短くするには、情報をバツリ切り落とさなければいけない。不足ではないのか。心配はない。不足の場合は相手から質問してくる。

★大枠からピンポイント

相手が何の話かが分からないままピンポイントで話を進めても、相手は理解できない。急に具体的な話をピンポイントで始めても、相手はまず受け取れない。全体のストーリーの中でその話がどの位置にあるのか、どのくらいの重要性があるのかがわからないからだ。かといって、ずっと概念的な話ばかりを続けるわけにもいかない。その際にうまく進めるコツは、「抽象(ざっくりした大枠)から具体へ」という流れを守ること。さらに、「抽象→具体」と展開した流れを再び「抽象」に戻し、いわば往復することで、説明力をフックにして考える力までアップする。

★話の脱線を防ぐ「シェアの法則」

説明を始めた後、展開が脱線してしまうことがある。実はこれ、説明を始める段階で手を打つだけで、かなりの確率で回避できる。これから説明するテーマをシェアするのだ。

・説明の冒頭ではっきり「宣言」する

「今日は〇〇の件について承認をいただくためのご説明をします」

確認なのか報告なのか相談なのか提案なのか、明確にしておくことです。

いかがでしたか？使えそうなものはありましたか？

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

岡山県金融経済月報 11月4日

2023年四字熟語

日本銀行岡山支店

世の中の動きはますます複雑になっている気がします。岡山の景気はどのようなのでしょうか？日銀の情報をご紹介します。

(1) 最終需要

- ・個人消費は、緩やかに増加している。
- ・百貨店・スーパー売上高は、緩やかな増加。
- ・乗用車販売は、供給制約の影響から足踏み状態が続いている。
- ・家電販売は、横ばい圏内の動き。
- ・主要観光地は、回復している。
- ・設備投資は、増加している。

9月短観調査における 2022 年度の県内企業の設備投資額（全産業）は、増加計画となっている。

- ・住宅投資は、高めの水準で推移。
- ・公共投資は、一部で弱めの動き。
- ・輸出は、名目ベースで増加している。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、緩やかに増加している。

(3) 雇用・所得

労働需給は引き締まり傾向が強まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

(4) 物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、2%台半ばとなっている。

(5) 倒産

9月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上）をみると、倒産件数は前年と同数となったが、負債総額は前年を下回った。

(6) 金融

県内実質預金、県内貸出は、緩やかに増加。貸出約定平均金利緩やかな低下傾向。

ネットで見つけた「四字熟語で誓う新年の抱負」をご紹介します。2023年、どんな年にしますか？四字熟語で表現してみませんか？どんな大きな課題があっても「泰然自若」、眼前に暗雲立ち込めても「前途洋々」を信じる、とか。

・心機一転（しんきいってん）：あることをきっかけとして、すっかり気持ちが良い方向に変わること。また、変えること

・悠々自適（ゆうゆうじてき）：俗事にわずらわされず、のんびりと心静かに、思うままに過ごすこと

・泰然自若（たいぜんじじゃく）：周囲に振り回されず、堂々と落ち着いていてどんなことにも動じないさま

・一期一会（いちごいちえ）：あまたの出会いが待っている。一生に一度だけの機会。生涯に一度限りであること。生涯に一回しかないと考えて、そのことに専念する意

・前途洋々（ぜんとようよう）：未来は明るい、期待を込めて。今後の人生が大きく開けていて、希望に満ちあふれているさま

・七転八起（しちてんはつき）：立ち向かう、きつとうまくいく。何度失敗してもくじけず、立ち上がって努力すること

・不言実行（ふげんじっこう）：目標に向かって突き進もう。あれこれ言わず、黙ってなすべきことを実行すること

・不撓不屈（ふとうふくつ）：くじけてしまいうちにピリオド。強い意志をもって、どんな苦労や困難にもくじけないこと

・一念発起（いちねんほつき）：なし遂げる、これまでとは違う。それまでの考えを改め、あることを成し遂げようと決意し、熱心に励むこと